

7) 学術委員会

委員長：松村 一

委員：青木 昂平、小川 令、小山 明彦、檜山 和也、加藤 達也
小久保健一、清水 雄介、土佐 泰祥、成島 三長、野村 正
林 利彦、林田 健志、松峯 元、三川 信之、宮本 純平
八巻 隆、吉龍 澄子

開催年月日：

1. 2024年4月17日（学術委員会 メール会議）
2. 2024年7月4日（学術委員会 zoom）
3. 2025年1月6日（学術委員会 zoom） その他、適宜メール委員会

活動の概要：

1. 2024年4月10日、春季学術講習会の e-learning 配信を「四肢の再建外科」をテーマとして開始した。
 - (1) 「切断指」 柳林 聡（新東京病院 形成外科）
 - (2) 「筋・腱・靭帯損傷」 鳥谷部 荘八（仙台医療センター 形成外科手外科）
 - (3) 「血管・神経損傷（含むコンパートメント症候群。切断指を除く）」 松末 武雄（関西電力病院 形成外科）
 - (4) 「軟部組織欠損（再建）」 上菌 健一（九州大学 形成外科）
2. 2024年10月17日、秋季学術講習会の e-learning 配信を「皮膚軟部腫瘍の治療～薬物療法を含めて」をテーマとして開始した。
 - (1) 「神経線維腫症の診断と治療」 坂本 道治（京都大学 形成外科）
 - (2) 「低流速型脈管奇形（静脈奇形、リンパ管奇形）の診断と治療」 石川 耕資（北海道大学 形成外科）
 - (3) 「高流速型脈管奇形（乳児血管腫）、その他の血管性腫瘍の診断と治療」 野村 正（神戸大学 形成外科）
 - (4) 「有棘細胞癌、メラノーマの診断と治療」 青木 恵美（国立鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科）
3. 形成外科学会として専門医教育のために LMS（Learning Management System）を利用するにあたり、LMS 委員会で下記を導入検討中。LMS に関して 2025 年日本形成外科学会総会・学術集会で学術委員会企画のセッションを開催予定。
 - ・導入業者：ボウ・ネットシステムズ株式会社
 - ・導入システム呼称（仮）：DUH（Digital University Hub）
 - ・進捗状況：毎月ボウ・ネットシステムズ及び日本形成外科学会事務局とミーティングを行い、教材コンテンツについて、学術講習会の資料を利用することを委員会内で方針を決定した。今後、使用する教材コンテンツの著作権、個人情報取り扱いについて作成者に確認予定。LMS 委員会（委員長：加藤達也、松村一、青木昂平、清水雄介、野村正、三川信之）
4. 2024 年度学術奨励賞は、日形会誌および JPRS 以外の、2024 年 1 月号から 12 月号までの邦文または英文の医学雑誌に掲載済みの論文を募集した。2024 年度から

若手部門（応募締切時の年齢が 35 歳未満）を新規で設立した。計 26 編（基礎部門 7 編、臨床部門 7 編、若手部門 12 編）の応募があり、候補論文編（基礎部門 3 編、臨床部門 3 編、若手部門 5 編）を理事会に上申した。

5. 2025 年 4 月 16 日、春季学術講習会の e-learning 配信を「先天異常」をテーマとして開始予定。

- | | |
|---------------|-------------------------|
| (1) 「唇裂・口蓋裂」 | 彦坂 信（国立成育医療研究センター 形成外科） |
| (2) 「耳介の先天異常」 | 小山 明彦（福島県立医科大学 形成外科） |
| (3) 「体幹の先天異常」 | 野口 昌彦（長野県立こども病院 形成外科） |
| (4) 「手足の先天異常」 | 小野 真平（日本医科大学病院 形成外科） |

7-i) 用語アドホック委員会

委員長：鳥山 和宏

担当理事：松村 一

委員：朝村 真一、飯田 拓也、漆館 聡志、樫山 和也、河合建一郎
小久保健一、権太 浩一、清水 史明、多久嶋亮彦、富田 興一
永竿 智久、林田 健志、松峯 元、吉龍 澄子

開催年月日：適宜 e-mail 委員会

主な議題：

形成外科用語集第 5 版の検討

活動の概要：前回の用語集の発刊から 15 年が経過して改訂が必要と思われる。

1. 形成外科用語集第 5 版からエクセルの資料を作成した。
2. 形成外科用語集第 5 版からのエクセルの資料から、不適切な用語の候補を拾い挙げ検討中。